

新茶の手摘み

4月13日と15日、志布志市茶業振興会が約20年ぶりに新茶の手摘みを行いました。これは全国茶品評会に向けた高品質な茶を作ることを目的に、生産者やシルバー人材センター、関係機関から約70名が参加し、技術員の指導のもと作業に汗を流しました。

平成31年には本市にて県茶業振興大会、平成32年には鹿児島県にて全国お茶まつりが開催される予定です。この大会で開催される各種茶品評会で上位入賞し、志布志市の産地銘柄を確立するため生産者、関係機関が一体となり取り組んでいます。



新茶葉